

### 3 検査科

[人事など]

2012年度は品川部長のもと、常勤臨床検査技師 18 名、臨職臨床検査技師 5 名、委託職員 2 名（受付・洗浄）で業務を行いました。検査科の大部分は新棟で本稼働できましたが、検体検査受付・採血室・生理検査室が新棟内仮設スペースでの稼働となりました。解剖室は従来の施設を利用しました。各検査部門システムが更新または新規導入されました。

10 月より、臨床検査専門医の加野象次郎先生を臨床検査専任部長として迎えることができました。異常データの解析・臨床医との意見交換など様々な場面で、臨床検査業務の充実に貢献していただきました。

12 月より従来の日当直日誌に加え、業務日報を導入し、日常業務遂行上の問題点把握と科内全体の情報共有を図りました。

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
検査総件数	1,399,552	1,424,421	1,390,098
外来総件数	956,667	1,004,309	1,024,197
入院総件数	442,885	420,112	365,901
外来/総件数比率	0.68	0.71	0.74

	2010 年度	2011 年度	2012 年度
外注件数	29,098	31,700	31,171
外注金額	39,387,900	39,338,961	39,687,859

[採血室]

検査の外来比率増加により業務量が増えました。2 期移転まで仮設での運営で、待合スペースが狭いなどの問題を抱えながらも、できるだけ待ち時間を減らすために、8 時からの採血業務に検査科全員体制で業務にあたりました。採血支援システム導入により、患者間違いをほぼ 100% なくす事ができました。

採血室採血者数	2010 年度	2011 年度	2012 年度
合計	47,077	50,124	51,280
日平均	192.9	204.6	210.2

[検体検査]

検体検査システム更新により検体検査全般の進捗管理が可能となり、より迅速な結果報告が可能になりました。MMP3・KL6・グリコアルブミンの院内検査を開始し、平日日勤帯では迅速報告が可能になりました。

検体検査部門	2010年度	2011年度	2012年度
一般検査	66786	68031	66369
血液学的検査	125762	132174	132604
生化学的検査	1002916	1010799	994490
内分泌検査	6056	6995	10720
免疫学的検査	106543	109670	107640
検体合計	1308063	1327669	1311823

#### [生理検査]

仮設での運営で、患者様にわかりにくい構造ですが、患者様へのこまめな声掛けなどを行い、大きな問題もなく稼動しました。毎年業務量は増加し、2012年度は前年度比105%となりました。2013年1月には、外部講師（東京厚生年金病院・石崎一穂主任技師）による整形領域超音波検査講習会を膠原病・リウマチセンターと協賛で行いました。その後整形領域エコー検査を開始しました。

生理検査部門	2010年度	2011年度	2012年度
循環器機能検査	11544	13012	13433
脳・神経機能検査	229	213	287
呼吸機能検査	2437	2446	2710
前庭・聴力機能検査	1595	1288	1870
超音波検査	7993	8609	8693
生理機能その他	142	270	182
生理合計	23940	25838	27175

#### [細菌検査]

自動同定・感受性装置を新規導入し、業務の効率化と結果報告時間の短縮・詳細な菌名・MIC値での感受性結果報告が可能となり、抗菌薬適性使用の支援体制が整備されました。感染対策委員会活動に積極的に参加し、感染管理加算Ⅰの取得可能な体制づくりに貢献しました。

細菌検査部門	2010年度	2011年度	2012年度
塗抹・形態検査	8457	8008	6715
培養同定検査	17033	17782	15915
薬剤感受性検査	3166	2906	2850
微生物その他	209	141	159
細菌合計	28865	28837	25639

#### [病理検査]

老朽化していた病理検査機器が一新されました。迅速自動包埋装置、自動染色システムにより効率的な標本作製体制が整いました。電子カルテの病理オーダー導入で、迅速な報告

や各種画像の閲覧が電子カルテ上で可能となり、臨床へのサービスが充実されました。

病理検査部門	2010年度	2011年度	2012年度
細胞診検査	3183	3948	3991
病理組織検査	3523 (5685)	2874 (4189)	2967 (3630)
迅速凍結組織検査	89	95	81
電子顕微鏡検査	34	19	17
病理解剖	19	21	13
総件数	6848	6957	7069

病理組織検査( )内は保険点数件数

#### [輸血製剤管理]

電子カルテの輸血オーダ開始と共に、T&S運用を開始しました。5月より輸血管理料Ⅱの算定が可能となり、2013年3月からは適正使用加算も取得できるようになりました。

血液製剤使用単位数	2010年度	2011年度	2012年度
赤血球 MAP	2091	2475	2170
新鮮凍結血漿	1403	1221	791
濃厚血小板	2940	2150	1405
自己血 CPD	270	285	283
輸血合計	6704	6131	4649

#### [夜間・休日検査]

救急患者受け入れの増加と共に、件数は増加し前年度比 110%でした。検体検査・心電図・輸血製剤管理・結核菌検査など多岐にわたる業務を1名の技師で対応しました。

夜間休日検査	2010年度	2011年度	2012年度
総件数	4853	5964	6600

#### [チーム医療への参加]

ICT・NST・CKD・糖尿病教育などに積極的に参加しました。

#### [教育・研修]

各専門学会・講習会に積極的に参加しました。また科内研修会を2月より、毎月実施しました。臨床検査技師実習生3名の現地実習を約4ヶ月受け入れました。初期研修医クルーズ(検査科全般・病理・輸血)、薬剤科実習生、近隣中学・高校生見学を受け入れました。

(文責 検査科担当課長 伊藤 万里子)